

Le pronom conjoint et le pronom disjoint (結合代名詞と分離代名詞)

I. Différence (違い)

"à"の前置詞を使う動詞の間接目的語は、代名詞になると、2種類があります。動詞の意味によって、**結合代名詞**か**分離代名詞**を選びます。

- その動詞の間接目的語は、物が不可能で、人間(と動物)しか出来ない時、**結合代名詞**になります。
- その動詞の間接目的語は、物または、人間(と動物)出来る時、**分離代名詞**になります。

例:

<i>le pronom conjoint</i> 結合代名詞	"Je parle à Paul."	"Je lui parle."
<i>le pronom disjoint</i> 分離代名詞	"Je pense à Paul."	"Je pense à lui."

II. Choix du pronom (代名詞の選び方)

結合代名詞の場合は、名詞の代わりに**間接目的語代名詞**を使えます。

分離代名詞の場合は、

- 人間の代わりに**強勢形代名詞**を使えます。
- 物の代わりに**中性代名詞**を使えます。

動詞"à"	人間可能、物不可能の動詞	人間可能	"Je parle à Paul." → "Je lui parle."
		物不可能	"Je parle à un stylo." → ∅
	人間と物 possible の動詞	人間可能	"Je pense à Paul." → "Je pense à lui."
		物可能	"Je pense à un stylo." → "J'y pense."